

品番：SC-70 品名：水性ユートン フロアー用

(水性アクリルウレタンエマルジョン塗料)

仕 様 書

玄々化学工業株式会社

ホルムアルデヒド放散等級

F [(社)日本塗料工業会登録 登録番号 G01004]

F は建築基準法における屋内に面積の制限なく使用できる建築材料を示す規格です。

特長

臭いの少ない安全な塗料です。

水性アクリルウレタンエマルジョン

高光沢、レベリングに優れています。

刷毛塗り、アプリケーションでの作業性がよい。

適度なノンスリップ性と弾力性があり滑りにくく、足に負担をかけません。

耐ヒールマーク性に優れています。

水性のため不燃性で、引火性がない。

学校環境衛生基準適合

用途

屋内木部全般・体育館・学校の教室。公共施設など

塗装方法

刷毛塗り、コーティングモップ

塗膜物性試験

塗装品番：SC-70（水性ユートン フロアー用）

試験材料：米ツガ無垢材 塗布量：60～80 g/m²（3回塗り）

試験項目	試験方法	試験結果
粘度	20 HIS/NK 2	25 ± 5 秒
光沢	60 鏡面反射率	85 以上
指触乾燥	20 75%RH	3 0分
硬度	鉛筆硬度 7日後	H
耐酸性	5%酢酸 6時間後スポット後拭き取り	異常なし
耐アルカリ性	1%炭酸ナトリウム 6時間スポット後拭き取り	異常なし
耐アルコール性	60%エタノール 6時間スポット後拭き取り	異常なし
耐シンナー性	ウレタンシンナー 6時間スポット後拭き取り	異常なし
耐水性	水 6時間スポット後拭き取り	異常なし
密着性	碁盤目テスト（セロテープ剥離テスト）	100/100
耐磨耗性	JIS K5600-5-9	8mg/100回

塗装工程

適用範囲：屋内木部床材全般（未塗装の場合）

仕 様：水性 透明 ツヤあり仕上げ

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20)
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	下塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 8 時間以上
3	研磨紙ずり	サンドペーパー P180 ~ P220	
4	中塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 8 時間以上
5	研磨紙ずり	サンドペーパー P220 ~ P320	
6	上塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 24 時間以上

仕 様：水性 着色 ツヤあり仕上げ

工程	使用材料 / 配合比 (重量比)	塗布量 (1回)	塗り重ね 乾燥時間 (20)
1	素地ごしらえ	サンドペーパー P180 ~ P220	
2	着色	アクア AP ステイン (SP-****) 100 水 適量	3 時間以上
3	拭き取り	ウエスにて全面拭き取り	
4	毛羽取り	サンドペーパー P400 ~ P600	
5	下塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 8 時間以上
6	研磨紙ずり	サンドペーパー P180 ~ P220	
7	中塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 8 時間以上
8	研磨紙ずり	サンドペーパー P220 ~ P320	
9	上塗り	水性ユートン (SC-70) 100 水 0 ~ 10	60 g ~ 80 g / m ² 24 時間以上

塗装は、刷毛塗り、コーティングモップをお使い下さい。

アクア AP ステインは F 適合品です。

アクア AP ステインは原液でご使用になる場合には厚塗りしすぎると、上塗りのクリヤーとの密着が悪くなる場合があります。

条件によって塗布量、乾燥時間は変わりますので目安として下さい。

適用範囲：体育館（未塗装の場合）

仕 様：水性 透明 ツヤあり仕上げ

工程		使用材料 / 配合比（重量比）	塗布量 （1回）	塗り重ね 乾燥時間 （20）
1	素地サンダー作業 床の状況に応じて工程を 変更する場合があります。	木部床面の凹凸や木釘の頭（ダボ）等を平滑な床面にするため、ドラムサンダー及びディスクサンダーで研磨します。		
		1回目研磨 （荒掛け）	#（P）24～40のサンドペーパーから、床の状態にあつともものを選ぶ。そのペーパーをドラムサンダーに装着し、床が平滑になるまで研磨する。	
		2回目研磨 （中掛け）	#（P）50～60のサンドペーパーから、床の状態にあつともものを選ぶ。そのペーパーをドラムサンダーに装着し、荒掛けスジが残らない様に研磨する。	
		3回目研磨 （仕上げ掛け）	#（P）80～100のサンドペーパーから、床の状態にあつともものを選ぶ。そのペーパーをドラムサンダーに装着し、中掛けスジが残らない様に研磨する。壁際等はディスクサンダー等に#（P）40～80のフロアディスクペーパーを用い、壁・幅木等に傷をつけないように研磨する。	
（P）は粒度の国際表示規格です。				
2	集塵作業	サンダー作業にて、床に残った木くずを掃除機で完全にに取り除き、床面をきれいに清掃します。		
3	1回目塗装	水性ユートン（SC-70） 水	100 0～10	60g～80g/m ² 8時間以上
4	ポリッシャー作業	1回目塗装乾燥後に#100～120の研磨材で毛羽取り研磨		
5	集塵作業	ポリッシャー作業にて、床に残った木くずを掃除機で完全の取り除き、床面をきれいに清掃します。		
6	2回目塗装	水性ユートン（SC-70） 水	100 0～10	60g～80g/m ² 8時間以上
7	ポリッシャー作業	2回目塗装乾燥後に#100～120の研磨材で毛羽取り研磨		
8	集塵作業	ポリッシャー作業にて、床に残った木くずを掃除機で完全の取り除き、床面をきれいに清掃します。		
9	3回目塗装	水性ユートン（SC-70） 水	100 0～10	60g～80g/m ² 8時間以上
10	ポリッシャー作業	3回目塗装乾燥後に#100～120の研磨材で毛羽取り研磨		
11	集塵作業	ポリッシャー作業にて、床に残った木くずを掃除機で完全の取り除き、床面をきれいに清掃します。		
12	コートライン引き	コートライン専用塗料をご使用下さい。		
13	集塵作業	床面をきれいに清掃します。		
14	第4回塗装	水性ユートン（SC-70） 水	100 0～10	60g～80g/m ² 24時間以上
15	養生	より強固な塗膜にするためには基本的に3～5日間養生して下さい。又気温や季節により一週間以上の養生期間を必要とする場合もあります。		

塗替えの場合は、古い塗膜が残っていると密着不良を生じる恐れがあるため、旧塗膜を完全に剥離し、木部表面が露出するまでドラムサンダー及びディスクサンダーで研磨します。

注意事項

1. 素地サンダー作業は水性ユートン塗装の効果を左右する重要な作業でありますので厳重かつ十分なサンダー作業を行って下さい。
2. 床材の樹種によりサンドペーパーの番手を選択して下さい。

3. ドラムサンダーで研磨できない所は、ディスクサンダー又は手で研磨して下さい。
4. 旧塗膜の削り屑は自然発火する恐れがありますので掃除機で吸引した削り屑は、燃えない容器に入れて水で十分しめらせて処理して下さい。

体育館フローア塗料の滑り試験

滑り抵抗指標

試験方法	JIS A 1454(高分子系張り床材試験方法)6.12 滑り性試験に従った。 試験条件：乾燥状態・試験体表面を清掃し、乾燥させた状態 滑り片：硬さ（A型）75、厚さ 6mm の SBR 製（スポーツシューズ想定）
滑り抵抗係数（C.S.R）	1.305

滑り抵抗係数が 0.8 以上はノンスリップ性に優れ、滑り転倒しにくい数値です。

備考：ブナ無垢材に塗料を 3 回ぬり（80 g ~ 90 g/m²）したものを試験体とした。

試験機関：(財) 建材試験センター

注意事項

塗料使用後は必ず密栓をし、冷暗所に保管して下さい。（凍結しない場所）

ご使用前には塗料を十分攪拌してからご使用下さい。

塗布量が多すぎると乾燥が著しく遅くなり、ツヤムラ・乾燥不良の原因になりますのでご注意下さい。又、塗布量が少なすぎると、塗料の性能が十分出ない可能性があります。標準塗布量を遵守して下さい。

塗布量は、素材の種類によって異なりますので、あくまでも目安として下さい。

塗装前に、素材の汚れ、ヤニ、ワックス等を除去してから塗装して下さい。

5 以下でのご使用は避けて下さい。（乾燥時間が著しく遅くなります）

塗装時に使用した道具は、温水石鹼で洗浄後、溶剤（アセトン）にて洗って下さい。

どのような場合でも換気に十分注意して下さい。

決して飲まないようにして下さい。もし、誤って飲んでしまった場合には、直ちに医師の処置を受けて下さい。

目に入らないようにして下さい。目に入った場合は、直ちに大量の水で目を洗い医師の処置を受けて下さい。

皮膚についた場合には、石鹼で水洗いして下さい。

初めて本製品をご使用される場合には、必ず目立たない場所で試し塗りを行って下さい。

他社製品との併用についても同様に試し塗りを行って下さい。

製品の取り扱いに当たっては、製品安全データシート（MSDS）に従って下さい。

廃棄方法

少量の場合には、吸収材（新聞紙等）に染み込ませ乾燥後適切な場所に廃棄して下さい。

量が多い場合には、専門の処理業者に依頼して廃棄して下さい。

水路や下水道には流さないで下さい。